

投資に役立つ

経済ワード

Vol.14

FOMC

各国の金融政策はその国の経済動向を見る上で重要です。特に米国の金融政策は、米国だけでなく世界の経済に影響を及ぼすため、市場参加者の関心は高くなっています。

米国の金融政策はFOMCで決定されます。



金融政策を決定する12名

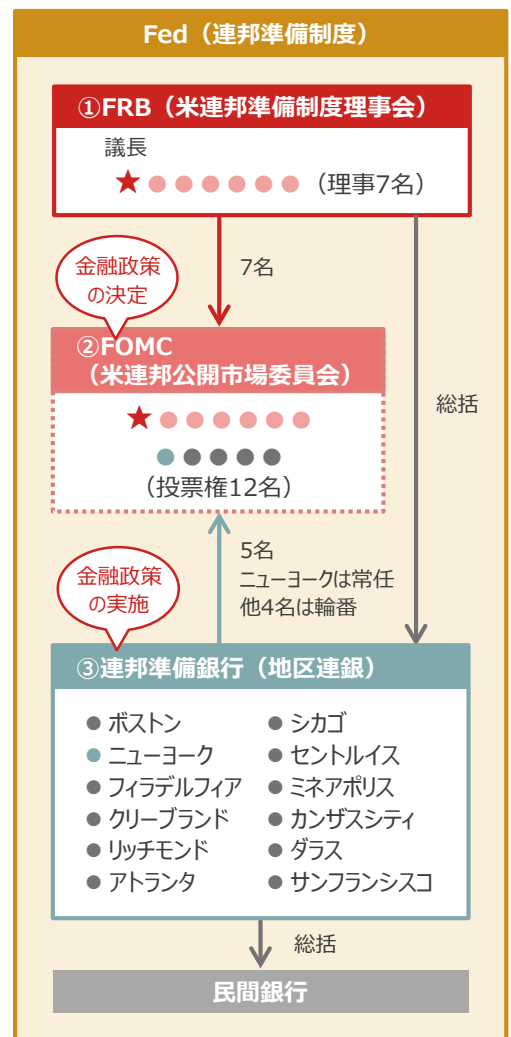
FRBはFOMCを年8回開催し、失業率やインフレ率などの経済指標をもとに経済情勢を議論し、原則多数決により金融政策を決定します。FOMCメンバーはFRBの理事7名と地区連銀総裁12名の計19名から構成され、そのうち投票権があるのは、FRB理事7名、ニューヨーク連銀総裁、それ以外の地区連銀総裁4名の12名です。

市場参加者や国民との対話を重視

FOMC開催後同日に声明が公表され、FRB議長の記者会見が開かれます。FOMCによる経済動向や政策金利の見通し、そこでの議長の発言などが注目されます。議長による記者会見は、金融危機後に当時のバーナンキ議長が政策運営の透明性を高めるため、2011年4月から年4回ペースで始められました。今年からは年8回、毎回開かれています。金融政策の意図を説明する機会を増やし、市場参加者や国民との対話を円滑にする狙いがあるようです。

また、3か月ごとに「ドット・チャート」も公表されます。ドット・チャートとはFOMCメンバーが適切と考える政策金利の水準をそれぞれひとつの点（ドット）として分布したものです。市場参加者は分布の中央値に注目し、ここから政策金利変更の回数を読み取ります。ただし、FRBの金融政策の意図を知るにはFOMC後の声明や3週間後に発表されるFOMC議事要旨が重要で、ドット・チャートだけに注目すべきではないということに注意が必要です。

■ FOMC参加者



当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。